

# ス イ ス

2022年1月27日  
海外調査部・ジュネーブ事務所

2020年のスイスの貿易は、輸出が前年比7.0%減、輸入は11.1%減と、ともに記録的な落ち込みとなった。ただし、輸出では中国向けが2桁の伸びを示し、輸入でも中国を始めとしたアジア大洋州地域からの輸入は拡大した。対日貿易は輸出が減少する中、輸入は主力の医薬品の輸入が倍増し、プラスの伸びを示した。通商交渉では、こう着状態が続いていたEUとの制度的条約交渉が中止となった。

## ■輸出入ともに記録的な落ち込み、2021年は回復の兆し

2020年の貿易は、輸出が前年比7.0%減の2,252億9,100万スイス・フラン(CHF)、輸入は11.1%減の1,823億1,200万CHFだった<sup>1</sup>。新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、ともに記録的な落ち込みとなった。貿易収支は429億7,900万CHFの黒字で過去最高額を更新した。黒字幅は前年より57億8,500万CHF拡大した。

輸出を品目別にみると、最大輸出品目である化学品・医薬品(構成比51.7%)を除き、全品目で前年よりも減少した。構成比が2番目に大きい精密機械・時計・宝飾品(17.9%)は特に落ち込み、前年比20.1%減だった。中でも時計(7.5%)が21.7%減、宝飾品・貴金属製品(3.4%)が34.3%減と大きく落ち込んだ。スイス時計協会によると、時計の輸出は、世界的にロックダウンが続いていた第2四半期に前年同期比61.6%減と大きく落ち込んだ。その後、第3四半期以降に最大の輸出先である中国市場が急速に回復したことに伴い、第4四半期は4.3%減に下げ幅を縮めた。

国・地域別にみると、EU(構成比48.3%)、アジア大洋州(18.4%)、米国(17.5%)の3主要国・地域とも、軒並み減少した。主要輸出相手国の中で唯一前年比プラスを記録したのが中国(6.5%)で、化学品・医薬品と時計に牽引され、前年比10.0%増を確保した。特に中国向けの時計は、第3四半期に前年同期比61.5%増、第4四半期に41.6%増と大きく伸びた。

輸入を品目別にみると、ほぼ全ての品目で減少した。例外は、農林水産物(構成比8.2%)、繊維・衣料製品(6.8%)でそれぞれ前年比1.7%増、3.1%増と増加した。最大輸入品目の化学品・医薬品(28.1%)は、医薬品(21.6%)が4.6%増加したものの、原材料(2.6%)が37.4%減少するなど他の品目がそれを上回る割合で縮小し、2.7%減となった。

国・地域別にみると、輸入全体の66.3%を占めるEUが8.9%減となった。欧州では、最大の輸入元であるドイツ(構成比27.1%)が8.1%減となった。英国(2.8%)も、同国からの最大輸入品目の化学

<sup>1</sup> 輸出入額は貴金属・宝石、芸術品、骨董品を除いた合計値。スイス税関は、金額の変動が大きく、貿易推移の把握を困難にすると、それらの取引量・金額を一般的な貿易統計から除外している。

品・医薬品が大きく落ち込んだことを受け、45.8%減と大幅に縮小した。欧州以外では、米国(6.3%)が16.5%減となった。一方、アジア大洋州(18.4%)では、繊維・衣料製品の増加によって中国(8.8%)が8.1%増、化学品・医薬品などに牽引されて日本(2.0%)が9.9%増となり、全体で6.9%増加した。

2021年に入ると、輸出は新型コロナ危機以前の水準に回復した。第1四半期は、化学品・医薬品の増加が大きく貢献した。新型コロナ感染拡大前の2019年第4四半期を上回り、四半期ベースで過去2番目に大きい581億1,000万CHFとなった。一方で、輸入は468億3,000万CHFで、2019年第4四半期の輸入額に37億6,300万CHF及ばなかった。

### ■EUとの制度的条約交渉は中止

スイスはEUに加盟していないが、世界各国と個別に、または同国が加盟する欧州自由貿易連合(EFTA)を通じて自由貿易協定(FTA)を締結し、貿易条件の優位性維持を試みている。現在、発効しているFTAは35件に上り、輸出の75.1%、輸入の88.0%がこれらのFTAでカバーされている。

一方、FTAに関して問題提起される事例もある。EFTAとインドネシアとの間で2018年12月に署名されたFTAが一例だ。スイスの農業団体は、インドネシア産パーム油に対する関税引き下げが環境破壊につながるとし、当該FTA締結に反対する立場から国民投票を訴えた。2021年3月に同FTA締結の可否を問う国民投票が実施され、51.65%の賛成多数で可決された。発効には少なくとも

表1 スイスの主要品目別輸出入<通関ベース>

(単位:100万CHF、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)			
	2019年		2020年		2019年		2020年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
化学品・医薬品	114,575	116,424	51.7	1.6	52,705	51,272	28.1	△ 2.7
医薬品	97,550	99,107	44.0	1.6	37,707	39,438	21.6	4.6
精密機械・時計・宝飾品	50,490	40,330	17.9	△ 20.1	30,297	19,264	10.6	△ 36.4
時計	21,718	17,000	7.5	△ 21.7	3,789	2,613	1.4	△ 31.0
精密機械	17,010	15,601	6.9	△ 8.3	8,436	7,857	4.3	△ 6.9
宝飾品・貴金属製品	11,762	7,729	3.4	△ 34.3	18,073	8,794	4.8	△ 51.3
機械および電気・電子機器	32,064	28,452	12.6	△ 11.3	32,002	29,970	16.4	△ 6.4
産業用機械	18,299	15,676	7.0	△ 14.3	12,580	11,290	6.2	△ 10.3
電気・電子機器	11,214	10,161	4.5	△ 9.4	11,755	11,171	6.1	△ 5.0
金属製品	13,585	12,066	5.4	△ 11.2	14,942	13,000	7.1	△ 13.0
農林水産物	10,057	9,625	4.3	△ 4.3	14,619	14,864	8.2	1.7
食品・飲料・たばこ	9,056	8,686	3.9	△ 4.1	10,784	11,140	6.1	3.3
繊維・衣料製品	4,984	4,679	2.1	△ 6.1	11,975	12,350	6.8	3.1
輸送用機器	5,652	4,611	2.0	△ 18.4	19,503	17,409	9.5	△ 10.7
燃料・エネルギー	2,497	1,904	0.8	△ 23.8	9,312	5,629	3.1	△ 39.6
電力	1,786	1,547	0.7	△ 13.3	1,387	1,254	0.7	△ 9.6
原油・石油製品	694	348	0.2	△ 49.9	6,663	3,578	2.0	△ 46.3
合計(その他含む)	242,344	225,291	100.0	△ 7.0	205,150	182,312	100.0	△ 11.1

[注] 貴金属・宝石、芸術品、骨とう品(加工して貨幣またはその代替品として流通可能なもの)は含まない。  
[出所] スイス連邦財務省関税局

表2 スイスの主要国・地域別輸出入<通関ベース>

(単位:100万CHF、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)			
	2019年		2020年		2019年		2020年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
EU	114,948	108,786	48.3	△ 5.4	132,805	120,936	66.3	△ 8.9
ユーロ圏	104,815	98,790	43.8	△ 5.7	122,802	111,086	60.9	△ 9.5
ドイツ	44,085	40,412	17.9	△ 8.3	53,821	49,471	27.1	△ 8.1
イタリア	14,069	12,983	5.8	△ 7.7	18,748	16,799	9.2	△ 10.4
フランス	14,312	11,829	5.3	△ 17.4	15,114	12,797	7.0	△ 15.3
ベルギー	4,366	4,067	1.8	△ 6.8	3,574	3,017	1.7	△ 15.6
非ユーロ圏	10,133	9,996	4.4	△ 1.4	10,002	9,850	5.4	△ 1.5
英国	9,195	7,802	3.5	△ 15.2	9,427	5,110	2.8	△ 45.8
アジア大洋州	45,049	41,395	18.4	△ 8.1	31,428	33,595	18.4	6.9
ASEAN	8,330	7,706	3.4	△ 7.5	7,564	8,560	4.7	13.2
中国	13,392	14,734	6.5	10.0	14,894	16,096	8.8	8.1
日本	8,080	6,953	3.1	△ 13.9	3,356	3,688	2.0	9.9
香港	5,524	3,627	1.6	△ 34.3	1,296	1,242	0.7	△ 4.2
韓国	3,432	2,860	1.3	△ 16.7	798	838	0.5	5.0
インド	1,705	1,391	0.6	△ 18.4	1,960	1,655	0.9	△ 15.6
米国	41,989	39,493	17.5	△ 5.9	13,737	11,474	6.3	△ 16.5
カナダ	3,953	3,710	1.6	△ 6.2	582	660	0.4	13.4
ロシア	3,106	2,779	1.2	△ 10.5	253	204	0.1	△ 19.3
ブラジル	2,512	2,110	0.9	△ 16.0	575	593	0.3	3.1
メキシコ	1,436	1,273	0.6	△ 11.4	628	591	0.3	△ 5.8
合計(その他含む)	242,344	225,291	100.0	△ 7.0	205,150	182,312	100.0	△ 11.1

[注] アジア大洋州は、ASEAN+6(日本、中国、韓国、オーストラリア、ニュージーランド、インド)に香港、台湾を加えた合計値。

[出所] スイス連邦財務省関税局

EFTA 2カ国とインドネシアの批准が必要で、同9月現在、批准手続きが進められている。

EUと長年、こう着状態が続いていた制度的条約 (Institutional Agreement) については、スイス連邦参事会 (内閣) が2021年5月26日、条約に署名しないことを発表し、欧州委員会のウルズラ・フォン・デア・ライエン委員長宛てにその旨の書簡を提出した。スイス側はこれまで、「EU市民の自由移動の原則を保障する命令がスイスに直接適用されないこと」「スイスの賃金水準維持」「スイスの州政府補助金の維持」について明確化を求め、EUとの対話を重ねてきた。しかし、最終的に合意に至らなかったことになる。この決定により、7年間にわたる交渉は中止となった。

表3 スイスのFTA発効・署名・交渉状況

FTA		発効日	スイスの貿易に占める構成比 (2020年)		
			往復	輸出	輸入
発効済み	EU	1973年1月1日	56.4	48.3	66.3
	中国	2014年7月1日	7.6	6.5	8.8
	英国	2021年1月1日	3.2	3.5	2.8
	日本	2009年9月1日	2.6	3.1	2.0
	シンガポール	2003年1月1日	2.0	2.2	1.9
	湾岸協力会議 (GCC) 諸国	2014年7月1日	1.9	2.3	1.4
	香港	2012年10月1日	1.2	1.6	0.7
	カナダ	2009年7月1日	1.1	1.7	0.4
	トルコ	1992年4月1日	0.8	0.7	0.8
	韓国	2006年9月1日	0.5	1.3	0.9
	メキシコ	2001年7月1日	0.5	0.6	0.3
	EFTA (注①)	1960年5月3日	0.3	0.3	0.2
	合計 (注②)	-	80.2	75.1	88.0
	署名済み	インドネシア	署名日 2018年12月16日	0.2	0.2
グアテマラ		署名日 2015年6月22日	0.0	0.0	0.0
交渉中	南米南部共同市場 (メルコスール) (注③)	-	0.9	1.3	0.4
	ロシア・ベラルーシ・カザフスタン関税同盟	-	0.9	1.4	0.2
	インド	-	0.8	0.6	0.9
	ベトナム	-	0.8	0.2	1.4
	タイ	-	0.4	0.4	0.5
	マレーシア	-	0.3	0.3	0.4
	アルジェリア	-	0.1	0.1	0.0
	FTAカバー率 (交渉中も含む)	-	84.5	79.6	92.0

[注] ①EFTA：ノルウェー、アイスランドのみ計上 (リヒテンシュタインを含まない)。

②発効済みの合計値は、表に記載以外のFTA発効済み (以下の国・地域) も含めた合計。

イスラエル、フェロー諸島、パレスチナ、モロッコ、北マケドニア、ヨルダン、チリ、チュニジア、レバノン、南部アフリカ関税同盟 (SACU: ボツワナ、レソト、ナミビア、南アフリカ共和国、エスワティニ (旧スワジランド))、エジプト、セルビア、アルバニア、コロンビア、ペルー、ウクライナ、モンテネグロ、中米諸国 (パナマ、コスタリカ)、ボスニア・ヘルツェゴビナ、ジョージア、フィリピン、エクアドル (協定締結順)。

③南米南部共同市場は、アルゼンチン、ブラジル、パラグアイ、ウルグアイ。

[出所] スイス連邦経済省経済事務局「FTA一覧」。スイス連邦財務省関税局貿易統計

## ■2020年のM&Aは前年比45%減、ITメディア通信と金融分野に集中

スイス国立銀行によると、2020年の対内直接投資 (国際収支ベース、ネット、フロー) は、1,530億5,900万CHFの引き揚げ超過となった。業種別にみると、金融持株会社は1,653億5,800万CHFの引き揚げ超過で最大の要因となり、このうち1,131億6,000万CHFは資金調達や租税回避目的で設立された特別目的会社からの引き揚げだった。他方、その他産業・建設は前年の約3倍の117億1,800万CHFとなり、運輸・通信も31億3,200万CHFと伸びた。また、金属・機械は26億8,500万CHFと前年の引き揚げ超過からプラスに転じた。国・地域別にみると、ルクセンブルク、オランダがそれぞれ1,034億9,100万CHF、540億3,600万CHFの引き揚げ超過となった。前年は引き揚げ超過だった米国、アイルランドはそれぞれ186億1,400万CHF、115億9,800万CHFとプラスに転じた。

2020年の対外直接投資は339億6,100万CHFの引き揚げ超過となり、前年の544億5,400万CHFの引き揚げ超過から超過幅は減少した。サービス部門は、商業が122億8,300万CHFと前年の引き揚げ超過からプラスに転じ、金融持株会社は前年の402億3,100万CHFの引き揚げ超過に続き531億8,700万

CHFの引き揚げ超過となった。製造業では、化学・プラスチックが116億7,700万CHFと、前年から大きく伸びた。電子・工学・時計等、その他産業・建設は引き揚げ超過に転じ、それぞれ61億1,600万CHF、58億8,700万CHFの引き揚げ超過だった。国・地域別にみると、ルクセンブルク、アイルランド、オランダの引き揚げ超過が合計で約490億CHFとなった一方、米国とシンガポールはそれぞれ160億8,000万CHF、109億6,700万CHFと前年の引き揚げ超過からプラスに転じた。

経済誌「ハンデルツァイトゥング」のM&A特集(2021年2月2日付)によると、2020年にスイス企業関わったM&Aの総取引額は前年比45%減の385億CHFだった。新型コロナ危機の影響を受けて大きく減少し、案件は主にITメディア通信と金融分野に集中した。

2020年の最大の対内投資案件は、2018年12月に買収契約が公表され2020年7月に完了した、日立製作所による重電大手ABBのパワーグリッド事業の68億5,000万ドルでの買収だった。この他、米リバティ・グローバルによる11月のスイス携帯大手サンライズ・コミュニケーションの54億2,780万ドルの株式公開買い付けや、NECによる12月のスイス大手金融ソフトウェア企業アバロクの20億5,000万CHFでの買収案件などがあつた。M&A以外では、米モデルナが2020年9月にメッセンジャーRNAをベースとした医薬品やワクチンの開発・輸入・製造・販売などの拠点となる子会社をバーゼルに設立することを発表した。

2020年の対外直接投資の最大案件は、スイス証券取引所を運営するSIXグループがスペイン証券取引所を運営するボルサス・イ・メルカドス・エスパニョルを6月に27億4,900万CHFで買収した案件だった。この他、食品大手ネスレが10月にバイオ医薬品の米アイミューン・セラピューティクスを買収した案件、香料メーカー大手のフィルメニッヒが5月に化学原料の仏レ・デリヴェ・レズイニック・エ・テルベニック(DRT)を買収した案件があつた。

## ■対日貿易は輸出入とも減少の中、医薬品の輸入が倍増

2020年の対日貿易は、輸出が前年比13.9%減の69億5,300万CHF、輸入が9.9%増の36億8,800万CHFとなった。貿易黒字は前年より14億5,900万CHF縮小し、32億6,500万CHFだった。

主な対日輸出品目をみると、最大品目の医薬品(構成比49.8%)が前年比6.2%減。次いで構成比が

表4 スイスの業種別対内・対外直接投資  
＜国際収支ベース、フロー＞

(単位: 100万CHF)

	対内直接投資		対外直接投資	
	2019年	2020年	2019年	2020年
	金額	金額	金額	金額
製造業	7,354	5,536	22,146	1,267
電子・工学・時計等	216	△ 7,299	1,624	△ 6,116
金属・機械	△ 294	2,685	310	1,878
化学・プラスチック	3,402	△ 1,568	1,207	11,677
その他産業・建設	4,029	11,718	19,750	△ 5,887
繊維・アパレル	n.a.	n.a.	△ 745	△ 285
サービス	△ 112,780	△ 158,595	△ 76,600	△ 35,228
商業	△ 21,999	△ 7,710	△ 31,083	12,283
運輸・通信	2,723	3,132	1,951	△ 1,063
保険	△ 1,892	740	3,237	△ 851
銀行	23	△ 401	6,169	435
金融持株会社	△ 70,707	△ 165,358	△ 40,231	△ 53,187
その他サービス	△ 20,928	11,002	△ 16,643	7,154
合計(その他含む)	△ 105,426	△ 153,059	△ 54,454	△ 33,961

〔出所〕スイス国立銀行

表5 スイスの国・地域別 対内・対外直接投資  
＜国際収支ベース、フロー＞

(単位: 100万CHF)

	対内直接投資		対外直接投資	
	2019年	2020年	2019年	2020年
	金額	金額	金額	金額
EU	△ 87,741	△ 150,859	△ 61,552	△ 51,219
ルクセンブルク	△ 6,571	△ 103,491	△ 57,880	△ 22,682
オーストリア	169	6,833	1,756	△ 277
ドイツ	△ 2,404	446	5,376	2,678
フランス	3,461	585	3,684	520
オランダ	△ 18,557	△ 54,036	△ 10,501	△ 10,316
アイルランド	△ 63,628	11,598	△ 36,739	△ 15,930
スペイン	△ 607	726	1,524	3,105
イタリア	243	336	2,077	852
英国	△ 6,394	△ 5,808	5,910	4,627
ロシア	n.a.	n.a.	3,905	915
米国	△ 40,619	18,614	△ 6,919	16,080
中南米(オフショア地域含む)	15,962	△ 27,601	△ 5,770	△ 23,805
ブラジル	n.a.	n.a.	1,007	△ 335
メキシコ	n.a.	n.a.	759	△ 212
アジア・大洋州・アフリカ	20,654	15,609	3,022	19,590
日本	17,334	11,345	899	714
シンガポール	n.a.	n.a.	△ 4,565	10,967
中国(香港含まず)	n.a.	n.a.	1,701	2,958
インド	n.a.	n.a.	247	△ 14
アラブ首長国連邦	n.a.	n.a.	△ 9,324	△ 2,231
合計(その他含む)	△ 105,426	△ 153,059	△ 54,454	△ 33,961

〔出所〕スイス国立銀行

表6 スイスの主な対内直接投資案件(2020年)

＜M&A以外＞						
業種	企業名	国籍	時期	投資額	概要	
バイオテクノロジー	モデルナ	米国	2020年9月	非公表	米モデルナは、スイス子会社を設立。メッセンジャーRNAをベースとした医薬品やワクチンの開発・輸入・マーケティング・製造・販売のスイス拠点とする	
＜M&A＞						
被買収企業(事業)		買収企業		時期	投資額	概要
業種	企業名	企業名	国籍			
重電	ABB	日立製作所	日本	2020年7月	68億5,000万ドル	日立製作所は2018年12月に締結したABBのパワーグリッド事業の買収契約に基づき、ABBから分社化された日立ABBパワーグリッドへの80.1%の出資を完了。再生可能エネルギーへのシフトを見据え、2023年以降に残りの19.9%の株式を取得し、同社を完全子会社とする予定。
通信	サンライズ・コミュニケーション	リパティ・グローバル	米国	2020年11月	54億2,780万ドル	リパティ・グローバルは株式公開買付によるサンライズ・コミュニケーション買収を発表(11月完了)。傘下のスイス通信大手UPCとサンライズを統合し、ギガビットブロードバンドネットワークと5Gネットワークの統合によるシナジー効果を狙う。
IT	ウィーム・ソフトウェア	インサイト・ベンチャー・パートナーズ	米国	2020年3月	約50億ドル	大手ソフトウェア投資家インサイト・ベンチャー・パートナーズは、バックアップソリューションのグローバルリーダーであるウィーム・ソフトウェアの買収を発表(3月完了)。ウィーム・ソフトウェアは米国市場のシェアを拡大し、グローバル展開を進める。
IT	アバロク	NEC	日本	2020年12月	20億5,000万CHF	NECは、スイス大手金融ソフトウェア企業アバロクを100%所有する持株会社WP/AV CH Holding Iの全株式保有によるアバロクの買収を発表(12月完了)。デジタルファイナンス領域のソフトウェアやドメイン知識を獲得し同領域に本格参入するとともに、デジタルガバナメント領域の事業強化を図る。
金融	バルジュサ・ホールディング	バルジョイントコ	オランダ	2020年11月	非公表	投資持株会社バルジョイントコは、55%出資子会社でスイスの同業バルジュサ・ホールディングとグループ構造を簡素化するための合併を発表(11月完了)。バルジュサ・ホールディングの少数株主に対し、バルジュサ・ホールディング1株当たりグループ・プリュセル・ランペール(GBL)0.93株の株式交換を行い、新会社バルジュサSAを100%子会社化した。

[出所] 各社発表および報道などから作成

表7 スイスの主な対外直接投資案件(2020年)

＜M&A＞						
買収企業	被買収企業(事業)			時期	投資額	概要
企業名	業種	企業名	国籍			
SIXグループ	金融	ボルサス・イ・メルカドス・エスバニヨル(BME)	スペイン	2020年6月	27億4,900万CHF	スイス証券取引所を運営するSIXグループ(SIX)は、スペイン証券取引所を運営するBMEの株93.16%相当を任意の株式公開買付(TOB)により取得。欧州で3番目の金融インフラグループとなり、欧州基盤を固める。
ネスレ	医薬品	アイミューン・セラピューティクス	米国	2020年10月	非公表	ネスレは、食品アレルギーの治療薬開発などを手掛けるバイオ医薬品の米アイミューン・セラピューティクスの未保有株取得による完全買収を発表(10月完了)。食品アレルギー分野を強化する。
フィルメニッヒ	化学原料	レ・デリヴェ・レズイニック・エ・テルベニック(DRT)	フランス	2020年5月	非公表	フィルメニッヒは、化学原料メーカーDRTの買収を発表(5月完了)。DRTは主に松から植物ベースの原料を製造。フィルメニッヒは買収により再生可能かつ持続可能な原料の製造に注力、香料・原料事業を強化する。

[出所] 各社発表および報道などから作成

大きい腕時計(16.2%)も、26.3%減と大きく減少した。一方、輸入は、最大品目である医薬品(41.5%)が約2倍と大きく伸びた。対日貿易に関わる最近の動きとして、2021年4月21日から新制度に移行したEUの混合食品輸入規制がある。スイスとEUは、EUとの7分野に関する第1次バイラテラル協定(1999年6月調印、2002年6月1日発効)の中で、農産物の市場アクセスを相互に保証しており、同等の輸入要件を適用することを定めている。今回のEUの混合食品規制の変更部分は、スイスでも同日に施行された。これにより、日本からスイスに混合食品を輸出する際にも、動物性加工済み原料がEU認定施設由来であることなどを証明するため、公的機関が発行する公的証明書または事業者による自己宣誓書の添付が必要になった。

表8 スイスの対日主要品目別輸出入<通関ベース>

(単位: 100万CHF、%)

	輸出(FOB)				輸入(CIF)				
	2019年	2020年			2019年	2020年			
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率	
医薬品	3,688	3,461	49.8	△ 6.2	医薬品	761	1,532	41.5	101.2
腕時計	1,532	1,129	16.2	△ 26.3	乗用車	526	472	12.8	△ 10.2
医療機器	445	456	6.6	2.4	一般機械	335	230	6.2	△ 31.4
宝飾品	576	307	4.4	△ 46.7	電気・電子機器	241	209	5.7	△ 13.0
一般機械	325	300	4.3	△ 7.8	化学原材料	195	141	3.8	△ 27.7
化学原材料	119	138	2.0	16.3	光学機器	123	94	2.5	△ 23.6
検査・計測機器	134	131	1.9	△ 1.7	宝飾品	185	93	2.5	△ 49.7
飲料	124	123	1.8	△ 0.3	建設機械	70	70	1.9	△ 0.7
電気・電子機器	133	120	1.7	△ 10.2	検査・計測機器	56	51	1.4	△ 7.7
金属部品	101	108	1.6	6.4	医療機器	59	49	1.3	△ 17.9
たばこ	158	67	1.0	△ 57.6	自動車部品	59	48	1.3	△ 19.4
合計(その他含む)	8,080	6,953	100.0	△ 13.9	合計(その他含む)	3,356	3,688	100.0	9.9

[出所] スイス連邦財務省関税局

## ■日立製作所、NECによるM&A案件

スイス国立銀行によると、2020年の日本からスイスへの対内直接投資は113億4,500万CHF、スイスから日本への対外直接投資は7億1,400万CHFだった。日本企業によるスイスへのM&A最大案件は、既述の日立製作所による重電大手ABBのパワーグリッド事業の買収だった。新会社として発足した日立ABBパワーグリッドは、2021年10月に社名を日立エナジーに変更し、2023年以降には完全子会社化される。一方、NECは既述のアバロクの買収により金融資産管理における技術や知識を取得し、デジタルファイナンス領域に本格参入する。スイス企業による日本へのM&Aとしては、製薬企業アシノが武田薬品工業の中近東・アフリカにおける、一部の医療用医薬品、一般用医薬品のポートフォリオの譲渡を3月に受けた案件があった。

M&A以外の日本企業によるスイスにおける投資案件には、JSRライフサイエンスによるジュネーブのバイオ医薬品製造施設の拡大、横河電機によるバーゼルのバイオ事業拠点「ヨコガワ・イノベーション・スイス」の設立などがあった。スイス企業による対日投資案件では、ヴォントベル・アセットマネジメントの東京事務所設立などがあった。この他、日本スイス企業間連携プロジェクトとして、8月に発表されたABBによるイーモビリティパワーへのEV充電器供給や、11月に発表された半導体試験装置アドバンテストとスイスの半導体大手STマイクロエレクトロニクスとの共同システム開発などがあった。

## 主要経済指標

	2018年	2019年	2020年
①人口：8,667,100万人（2020年）			
②面積：4万1,285km <sup>2</sup>			
③1人当たりGDP：8万6,850米ドル（2020年）			
④実質GDP成長率（%）	3.0	1.1	△ 2.6
⑤消費者物価上昇率（%）	0.9	0.4	△ 0.7
⑥失業率（%）	2.5	2.3	3.1
⑦貿易収支（100万スイス・フラン）	30,497	35,919	25,695
⑧経常収支（100万スイス・フラン）	47,987	48,823	26,755
⑨外貨準備高（グロス） （100万米ドル）	744,167	804,004	1,020,172
⑩対外債務残高（グロス） （100万スイス・フラン）	1,829,523	1,921,862	2,000,983
⑪為替レート（1米ドルにつき、 スイス・フラン、期中平均）	0.978	0.994	0.939

〔注〕 ⑦：通関ベース  
 〔出所〕 ①②⑤：スイス連邦統計局、④⑥：スイス連邦経済省経済事務局、⑦：スイス連邦関税局、⑧⑩スイス国立銀行、  
 ③⑨⑪：IMF

（お問い合わせ先）

海外調査部 欧州ロシアCIS課

ORD@jetro.go.jp